

## 粘土遊び

- 粘土遊びでは、小麦粉と片栗粉を使いました。
- 小麦粉はネバネバ、べたべたという感触です。伸ばす、丸める、ちぎる等して遊びました。
- 片栗粉は、ドロドロ、べちゃ～という感触で握ると固まり、しばらくすると溶ける様に広がっていきます。子ども達の遊び方は回数を重ねるごとに変わっていききました。

## 小麦粉粘土

びよ～んって伸びるよ!!

みんなも触って遊んでみよう♪

初めて遊んだ時は、「なにこれ？」  
「触って良いの？」と知っているかの表情でおそろおそろ手をのばし粘土に触れていました。手に粘土がつくと嫌そうな顔をする子もいますがもちっとした感触を確かめるように握ったり、指先でつついたり、つまんだりしていました。



何度も遊んでいく内に粘土の感触にも慣れ、手の平でこねたり、伸ばしたり、叩いたり様々な触り方をしていました。粘土が手につくのが苦手な子は、道具を使ったり、粘土を袋に入れて直接触れなくても、感触が分かるようにし遊びに誘い掛けていきました。



水の量で感触が変わり、べたべたと手にくっつく事もありました。足の裏で粘土を踏んでみると、足の指を曲げながら粘土を何度も踏んで感触を楽しんでいる様子でした。粘土をボールやへビに見立てて遊ぶと次々に形を変え何にでもなる粘土に夢中でした。

## 片栗粉粘土

片栗粉粘土は小麦粉粘土と違い、形になりません。器から出した片栗粉粘土がドロドロ～っと机の上に広がって握ったり、つついたり触れていると固くなる粘土です！力を加えないと水のようにどろ～っと広がってこぼれていきます。片栗粉粘土は水っぽく、さらさらしているので手につきにくいのです。なので、手が汚れるのが苦手な子も自ら触れていました。器の中に粘土を入れて渡すと、まず始めに粘土を指でつついてどんな物が入っているのか確認しているようでした。器から出してみると、どろ～っと机の上に広がっていくのを見て目が点に!! 「こぼしちゃった」と思ったのかもしれないね。こぼした粘土に触れてみると、意外と固くて爪先、指先に力を入れて机にへばりついた粘土を削るようにして剥がしていました。



- 感触が違う二つの粘土での遊ぶ様子をお知らせしました。
- 油粘土は固く、0歳児クラスのお友達の力では、形に出来なかったり、口に入れてしまう事もあり、安心して扱える小麦粉と片栗粉を使用して遊んでいきました。
- 最初のうちは、子どもの指先、手先を刺激する為に道具は使わずに遊んでいきました。月齢を重ねるごとに手先が器用になり道具を使って遊ぶこともありました。
- が、まだまだ手先指先の感覚だけで楽しんで遊べる年齢です。食紅を混ぜ色の着いた粘土を用意し、色が混ざる様子を楽しんだり、足で粘土を踏んだり、丸めて投げたり、様々な形にこねてみたり、色んな遊び方が出来る粘土遊びは子どもの想像力が豊かになります。パン粉粘土や高野豆腐も面白い感触ですよ☆
- 簡単に出来るのでご家庭でも、一緒に遊んでみて下さい♪